



BSSR Japan NEWS LETTER No.15

2020. 8.20

第 14 回臨床ストレス応答学会大会開催報告

第 14 回大会長 徳永 文稔 (大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学)

2019年11月2～3日、大阪市立大学阿倍野キャンパスにおいて第14回日本臨床ストレス応答学会大会が開催しました。本学会は1996年に由良隆先生(京都大学名誉教授)が立ち上げられた臨床ストレス蛋白質研究会が前身となり、2005年に学会昇格を果たした後、令和への改元と時を同じくして「日本」を冠することとなりました。今回、全国より90名を超える参加者をお迎えして活発な討論が行われたことに心より御礼申し上げます。

生物は常時様々なストレス侵襲を受けており、各種生体防御応答を介して生体の恒常性維持に努めています。しかしながら、ストレスの過剰蓄積は生体を損傷し、がん、免疫疾患、神経変性疾患、動脈硬化・代謝疾患、精神疾患などの疾病を惹起します。本大会の特別講演では、ASKファミリー分子の様々なストレス応答制御のご研究で高名な東京大学の一橋秀憲先生をお招きし、「細胞がストレスを感じる仕組みと疾患」のタイトルでご講演いただきました。一橋先生は、ご講演日に紫綬褒章受章という大変めでたいニュースが飛び込んで参り、貴重な機会となりました。また、シンポジウムでは、科研費新学術領域研究として先駆的な異分野連携研究を推進されている「ケモユビキチン班」及び「数理シグナル班」と共催し、領域長の佐伯泰先生(東京都医学総合研究所)、武川睦寛先生(東京大学)の企画によって、各4名のシンポジストによる最新知見の講演と討論が行われました。前者では、核内タンパク質、膜タンパク質の品質管理機構や液滴形成、オートファジーアダプターの包括的解析などについて最新の知見をご紹介頂きました。また後者では、個体発生や各種疾患と関連したシグナル機構について、イメージング解析や数理モデル解析を含めたユニークな内容をご講演頂きました。さらに、ランチョンセミナーでは愛媛大学の澤崎達也先生に

The Biomedical Society for Stress Response, Japan

よるコムギ無細胞タンパク質発現系を用いた網羅的なタンパク質アレイの構築と活用例についてご講演いただきました。一般演題ではこれまでの大会での形式を継承し、発表者にはすべて口頭発表およびポスターレビューを行っていただきました。後者は短い時間でしたが、ポスター討論に向けた効果的なイントロダクションが行われ、極めて熱心に討論されている様子が見られました。

本大会では、いずれの演題においても活発な討論が展開され、それぞれの演題の質の高さに改めて感銘を受けました。招待の先生方を含め、多くの会員が最後まで活発な議論に参加していただけたことを感謝しております。最後に、本大会の準備と運営にご協力いただきました学会会員の皆様、協賛いただきました企業の皆様および教室員に深く感謝申し上げます。コロナ禍のため、大会のあり方も影響を受けると存じますが、今後も一堂に会して討論できることを切に願っています。

令和2年8月

大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学
教授 徳永 文稔



特別講演される一條秀憲教授



ポスター討論の様子



懇親会での一幕：大阪市立大学医学部ギター・マンドリン部による演奏

臨床ストレス応答学会若手研究奨励賞

2019年度第8回若手研究奨励賞は、足立弘明選考委員長をはじめとする4名の選考委員の厳正な審査のもと、以下の5名の先生が選ばれ、懇親会において授賞式が行われました。

Arpit Katiyar (山口大学大学院医学系研究科医化学講座)

「HSF1 regulates the mitochondrial UPR response in mammals」

小澤 大作 (大阪大学医学系研究科神経難病認知症探索治療学寄附講座)

「ポリグルタミン蛋白質によるプリオン様異常構造伝播」

羽根 雅人 (大阪大学大学院薬学研究科先制心身医薬学寄附講座)

「マクロファージのサイトカイン分泌におけるアドレナリンの役割の検討」

平岡 都 (同志社大学大学院生命医科学研究科医生命システム専攻)

「NRF1 と NRF3 は翻訳制御を介してがん細胞の構成的なプロテアソーム活性を相補的に維持する」

森下 和浩 (東京大学大学院薬学系研究科細胞情報学教室)

「ASK3 不活性化における高浸透圧ストレスセンサー候補分子 TRPM4 の機能解析」

2019年度 若手研究奨励賞選考委員

足立 弘明 (産業医科大学) 選考委員長

青江 知彦 (帝京大学)

今本 尚子 (理化学研究所)

藤木 幸夫 (九州大学)



若手研究奨励賞受賞者と足立弘明選考委員長、鳥越俊彦会長、徳永文稔大会長

第 15 回日本臨床ストレス応答学会大会（北九州大会）の延期

および次年度以降の大会スケジュール変更について

2020 年 11 月 6-7 日に北九州市で予定されておりました第 15 回日本臨床ストレス応答学会大会は、新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大の状況を考慮し、2022 年度に延期させていただくこととなりました。それに伴い、次年度以降の大会名称とスケジュールにつきましても下記のとおり変更させていただきます。関係各位には大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。

2021 年 11 月の予定 第 15 回日本臨床ストレス応答学会大会（大阪大会）
大会長：大阪大学大学院 永井 義隆 教授

2022 年 11 月の予定 第 16 回日本臨床ストレス応答学会大会（北九州大会）
大会長：産業医科大学 足立 弘明 教授

The Biomedical Society for Stress Response, Japan

学会役員・幹事・評議員

学会役員（2020年4月1日～2022年3月31日）

会長	鳥越 俊彦	（札幌医科大学医学部 教授）
副会長	徳永 文稔	（大阪市立大学大学院医学研究科 教授）
総務	永井 義隆	（大阪大学大学院医学系研究科 教授）
会計	親泊 政一	（徳島大学先端酵素学研究所 教授）
広報	足立 弘明	（産業医科大学医学部 教授）
企画	鵜殿 平一郎	（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授）
企画	中井 彰	（山口大学大学院医学系研究科 教授）
企画	養王田 正文	（東京農工大学大学院工学府 教授）
企画	横田 伸一	（札幌医科大学医学部 教授）
監事	柴田 亮行	（東京女子医科大学医学部 教授）

アドバイザー	永田 和宏	（JT 生命誌研究館 館長）
	佐藤 昇志	（札幌医科大学医学部 名誉教授）
	野村 馨	（大月市立中央病院）
	田中 啓二	（東京都医学総合研究所 所長）
	伊藤 英晃	（秋田大学大学院理工学研究科 教授）

学会幹事

青江 知彦	帝京大学ちば総合医療センターペインセンター
足立 弘明	産業医科大学医学部神経内科学講座
跡見 順子	東京農工大学工学府材料健康科学
石垣 診佑	名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学寄附講座
一條 秀憲	東京大学大学院薬学系研究科細胞情報学教室
伊藤 英晃	秋田大学大学院理工学研究科生命科学専攻
今泉 和則	広島大学大学院医系科学研究科分子細胞情報学
今本 尚子	理化学研究所開拓研究本部今本細胞核機能研究室
鵜殿 平一郎	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻腫瘍制御学講座免疫学分野
漆谷 真	滋賀医科大学内科学講座、脳神経内科
江口 傑徳	岡山大学大学院医歯薬総合研究科歯科薬理学分野
大塚 健三	
親泊 政一	徳島大学先端酵素学研究所生体機能学分野
甲斐 広文	熊本大学大学院医学薬学研究部先端生命医療科学部門分子機能薬学講座
久保田 広志	秋田大学大学院工学資源学研究科・工学資源学部生命化学科基礎生命化学講座
小林 聡	同志社大学大学院生命医科学研究科医生命システム専攻
柴田 亮行	東京女子医科大学医学部病理学第一講座
高橋 良輔	京都大学附属病院神経内科
田村 保明	北海道大学フード&メディカルイノベーション推進本部難治性疾患治療分野
徳永 文稔	大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学
鳥越 俊彦	札幌医科大学医学部病理学第一講座
内木 宏延	福井大学医学部分子病理学
中井 彰	山口大学大学院医学系研究科医化学分野
永井 義隆	大阪大学大学院医学系研究科神経難病認知症探索治療学寄附講座

The Biomedical Society for Stress Response, Japan

西頭 英起	宮崎大学医学部機能生化学
長谷川 隆文	東北大学大学院医学系研究科神経・感覚器病態学講座神経内科学分野
原 勲	和歌山県立医科大学医学部泌尿器科学教室
樋口 京一	信州大学大学院医学研究科加齢適応医科学系加齢生物学分野
藤木 幸夫	九州大学生体防御医学研究所オルガネラホメオスタシス研究室
堀 修	金沢大学医薬保健研究域医学系神経分子標的学講座
松岡 雅人	東京女子医科大学衛生学公衆衛生（一）
森 和俊	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻生物物理学教室・ゲノム情報分野
山本 雄造	秋田大学医学系研究科消化器外科
養王田 正文	東京農工大学大学院工学府生命機能科学部門
横田 伸一	札幌医科大学医学部微生物学講座
涌井 秀樹	秋田大学大学院工学資源学研究科生命科学専攻疾患生物学研究室

以上 36 名（五十音順）

学会評議員

青江 知彦	帝京大学ちば総合医療センターペインセンター
秋吉 一成	京都大学大学院工学研究科高分子化学専攻生体機能高分子分野
足立 弘明	産業医科大学医学部神経内科学講座
跡見 順子	東京農工大学工学府材料健康科学
石垣 診佑	名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学寄附講座
一條 秀憲	東京大学大学院薬学系研究科細胞情報学教室
伊藤 英晃	秋田大学大学院理工学研究科生命科学専攻
今泉 和則	広島大学大学院医系科学研究科分子細胞情報学
今本 尚子	理化学研究所開拓研究本部今本細胞核機能研究室
岩脇 隆夫	群馬大学・先端科学研究指導者育成ユニット
鶴殿 平一郎	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻腫瘍制御学講座免疫学分野
漆谷 真	滋賀医科大学内科学講座、脳神経内科
江口 傑徳	岡山大学大学院医歯薬総合研究科歯科薬理学分野
及川 大輔	大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学
大塚 健三	
親泊 政一	徳島大学先端酵素学研究所生体機能学分野
小山田 正人	藤女子大学人間生活学部食物栄養学科
甲斐 広文	熊本大学大学院医学薬学研究部先端生命医療科学部門分子機能薬学講座
勝野 雅央	名古屋大学大学院医学系研究科神経内科
金関 貴幸	札幌医科大学医学部病理学第一講座
木村 洋子	静岡大学大学院農学研究科応用生物化学専攻
久保田 広志	秋田大学大学院工学資源学研究科・工学資源学部生命化学科基礎生命化学講座
桑田 一夫	岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科
小亀 浩市	国立循環器病研究センター分子病態部
後藤 知己	熊本大学教育学部養護教諭養成課程
小林 聡	同志社大学大学院生命医科学研究科医生命システム専攻
小林 正伸	北海道医療大学看護福祉学部生命基礎科学講座
佐藤 昇志	札幌医科大学医学部
佐原 弘益	麻布大学獣医学部
塩田 正之	大阪市立大学大学院医学研究科研究支援プラットフォーム

The Biomedical Society for Stress Response, Japan

柴田 亮行	東京女子医科大学医学部病理学第一講座
関山 敦生	大阪大学大学院薬学研究科先制心身医薬学寄附講座
祖父江 元	名古屋大学大学院医学系研究科脳神経病態制御
高橋 良輔	京都大学附属病院神経内科
武内 敏秀	大阪大学医学系研究科神経難病認知症探索治療学寄附講座
田中 啓二	東京都医学総合研究所
田村 保明	北海道大学フード&メディカルイノベーション推進本部難治性疾患治療分野
田村 裕	千葉大学大学院医学研究院
千葉 進	札幌山の上病院神経内科臨床脳神経研究施設
徳永 文稔	大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学
鳥越 俊彦	札幌医科大学医学部病理学第一講座
内木 宏延	福井大学医学部分子病理学
中井 彰	山口大学大学院医学系研究科医化学分野
永井 義隆	大阪大学大学院医学系研究科神経難病認知症探索治療学寄附講座
永田 和宏	JT生命誌研究館
西田 憲生	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部ストレス制御医学分野
西頭 英起	宮崎大学医学部機能生化学
野村 馨	大月市立中央病院総合診療
長谷川 隆文	東北大学大学院医学系研究科神経・感覚器病態学講座神経内科学分野
原 勲	和歌山県立医科大学医学部泌尿器科学教室
樋口 京一	信州大学大学院医学研究科加齢適応医科学系加齢生物学分野
久留 一郎	鳥取大学大学院医学系研究科機能再生医科学専攻遺伝子再生医療学講座再生医療学分野
藤木 幸夫	九州大学大学院理学研究院生物科学部門
古橋 真人	札幌医科大学循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座
堀 修	金沢大学医薬保健研究域医学系神経分子標的学講座
増井 憲太	東京女子医科大学医学部病理学第一講座
増本 純也	愛媛大学大学院医学系研究科ゲノム病理学分野
松岡 雅人	東京女子医科大学衛生学公衆衛生（一）
水内 将人	札幌医科大学医学部産婦人科学講座
森 和俊	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻生物物理学教室・ゲノム情報分野
山田 健人	慶應義塾大学医学部病理学教室
山本 雄造	秋田大学医学系研究科消化器外科
養王田 正文	東京農工大学大学院工学府生命機能科学部門
横田 伸一	札幌医科大学医学部微生物学講座
吉田 賢右	京都産業大学工学部生物工学科
吉森 保	大阪大学微生物病研究所
涌井 秀樹	秋田大学大学院工学資源学研究科生命科学専攻疾患生物学研究室
和田 郁夫	福島県立医科大学医学部附属生体情報伝達研究所細胞科学研究部門

以上68名（五十音順）

~ Cell Stress Society International からのお知らせ ~

**Xth International Symposium on Heat Shock Proteins in Biology, Medicine
and the Environment**

Hilton Alexandria Old Town, VA

Meeting postponed until **November 13-16, 2021**

The symposium will be preceded by a “**Heat Shock Factor Workshop**” co-organized by Valérie Mezger, Lea Sistonen and Dennis Thiele, highlighting advances in Heat Shock Transcription Factor research.

The workshop will be held **November 11-13, 2021**.

< Principal Organizer >

Stuart K. Calderwood, Harvard Medical School

< Co-organizers >

Elizabeth A. Repasky, Roswell Park Cancer Center

Leonard Neckers, NCI/NIH

Larry Hightower, University of Connecticut

< Keynote Speaker and CSSI Medallion Recipient >

John T. Lis, Cornell University

< Session Topics >

Environmental Stress

Stress Management in human disease

Molecular chaperones and the immune response

HSP inhibitors and disease therapy – small HSP therapies

Molecular chaperones in metabolism

Extracellular HSPs

Chaperones, chaperone networks and dysregulation in disease

Aging and protein folding disorders

～ 会則変更に関するお知らせ ～

第14回臨床ストレス応答学会大会(2019年11月2～3日、大阪市立大学)におきまして、幹事会・評議員会・総会の承認を経て細則の第3条が変更となりました。会員の皆様にご報告を申し上げます。

細則第3条

5. 65歳以上の会員は年会費を無料とする。

～ 事務局からのご連絡 ～

入会手続き：

学会ホームページから手続きをお願い致します。

<http://bssr.jp/nyukai/>

年会費：

一般会員 5,000円 学生会員 3,000円 企業賛助会員 50,000円

以下の郵便口座へお振込ください。

加入者名：臨床ストレス応答学会

口座番号：02730-3-64452

日本臨床ストレス応答学会事務局

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目

札幌医科大学医学部病理学第一講座内 金関貴幸

TEL: 011-611-2111 (内線 26910) FAX: 011-643-2310

e-mail: BSSR@sapmed.ac.jp

ホームページ：<http://bssr.jp>